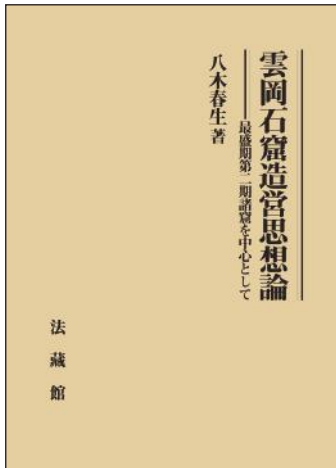


雲岡石窟造営思想論

最盛期第二期諸窟を中心として

やぎ はるお
八木春生 著 ▼B5判・上製函入・514頁 定価 二二、〇〇〇円

2024年3月刊行



皇帝如来という理念に基づいて造営された雲岡石窟。その第二期諸窟の全てについて詳しい分析を行い、根底に流れる思想を読み解く。

【目次】

カラー口絵

はじめに

第一部 二聖のための双窟造営

第二期諸窟の始まり(第一グループ)

- 第一章 第七・八窟主窟の壁面構成と造営思想
- 第二章 第九・一〇窟前室と主室に見る造営思想とその問題点

第二部 組窟造営による転換期

二系統の工人集団の出現(第二グループ)

- 第一章 第一三窟の造営過程
- 第二章 第一一窟の造営過程
- 第三章 第一一窟と第一三窟の関連と造営時期
- 第四章 第一二窟造営思想に見る第七・八窟と第九・一〇窟の融合

第三部 孝文帝のための造営

第二期諸窟造営思想の到達点(第三グループ)

- 第一章 第一・二窟の造営思想とその革新性
- 第二章 第六窟に見る第二期諸窟造営思想の到達点

第三章 第五窟の造営過程と第六窟の造営思想との関連

第四章 第一、第二期諸窟に見る仏弟子像表現の変遷

第四部 まとめ及び結論

雲岡石窟第二期諸窟の造営思想に見る意義と評価

あとがき
図版一覧
中文要旨
索引

◆著者略歴

八木春生(やぎはるお)

一九六一年横浜に生まれる。一九八八年に国際基督教大学大学院比較文化研究科修士課程修了後、成城大学大学院文学研究科美学美術史専攻博士課程後期に入学。一九九三年に単位取得退学。一九八五年から一年間、スイス国立ベルン大学哲学・歴史学部で留学、一九八八年から二年間、北京大学考古系に留学。一九九八年博士(文学)取得。現在、筑波大学芸術系教授。
著書『雲岡石窟文様論』(二〇〇〇)、『中国仏教美術と漢民族化』(二〇〇四)、『中国仏教造像の変容』(二〇一三)、『中国仏教美術の展開』(二〇一九)。論文多数。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
八木春生著	法藏館 定価 二二、〇〇〇円
雲岡石窟造営思想論	住所
最盛期第二期諸窟を中心として	お電話
ISBN:978-4-8318-6332-4 C3071	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

芸術・中国仏教美術